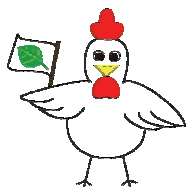


- P1 いきいき環境塾 エコっこスクール 2009
センターオリジナル「エコかるた」完成!
- P2 環境活動団体紹介、エコフェア案内、ミニ情報
- P3 県民協働型自然共生手づくり事業
- P4 手づくり事業活動報告、希少野生動植物種
保護支援員の募集、センターからお知らせ、
共催講座のご案内



いきいき環境塾 エコっこスクール2009

今年度は、小学生を対象に、県内の環境学習施設や企業と連携した環境学習講座「いきいき環境塾 エコっこスクール2009」を4回開催することになり、この夏、3回を終了しました。

第1回



<7月11日> 小学校1~6年生 54人参加
つのしま自然館を訪問。浜辺を散策しながら漂着物や貝などを観察し、先生から角島の豊かな自然について説明を受けました。また、地球温暖化が進み、「もしも砂浜がなくなってしまったらどうなる?」ということをみんなで考えました。

第2回



<7月27日> 小学校4~6年生 9人参加
この回は宿泊型でしたが、多くの被害が出た豪雨の後だったため、予定を変更し、1日だけの行程で開催しました。山口合同ガス(株)山口支店の出来たてホヤホヤの体験ハウス“ひまわり館”を見学し、燃料電池と天然ガスについて学びました。その後、秋吉台に移動。秋吉台エコ・ミュージアムと大正洞を見学し、洞窟のしくみと水の循環などについて先生から話を聞きながら自然を体感しました。

第3回

<8月9日・10日> 小学校4~6年生 15人参加



予定通り1泊2日の見学・体験学習を行うことができました。きらら浜自然観察公園では、トンボを中心とした自然観察を行い、また、鳥を頂点とした生態系ピラミッドについて学びました。積水ハウス(株)山口工場では住宅を建築する段階での同社の環境に対する取組みについて説明を受け、震度7の体験等もさせていただきました。

2日間、ボランティアとして2人の中国からの留学生(県立大)を含む4人の学生さんが支援してくれて、子どもたちはより一層ふれあいを楽しんでいました。



センターオリジナル「エコかるた」が完成しました!

地球温暖化防止やごみ問題、自然など環境に関することについて楽しみながら学べる環境学習教材として「エコかるた」を作成しました。

読み句は県内小学生の皆さんから募集し、山口大学教育学部の美術教育選修の学生さんに取り札の絵をデザインしていただきました。応募作品2,165句の中から選んだ読み札(45枚)は身近でわかりやすい内容で、カラフルでかわいいデザインの取り札(45枚)ができあがり!大きさは、はがきサイズです。できれば、読み句を考えてくれた皆さんと一緒に環境について話をしながら楽しくかるた取りをしたいです。もちろん、教材として貸し出しもしますので、是非、さまざまな環境学習の場にご活用ください。

環境活動団体さんをご紹介します！

菩提寺山里山の会

山陽小野田市 代表 比嘉朝康さん

<里山と自然について>

最近、日本の原風景として「里山」を見直す考えが定着しているように思えます。そのような考えが広まった背景は、人間の行き過ぎた経済活動に伴う地球規模の環境破壊があると言えるでしょう。わが国も、持続型社会の構築のために、生物多様性の必要性を唱えています。しかし、機械的豊かさに慣れ親しんでいる現代人にはなかなか響かないようです。しかし、少しずつではありますが、「子どもたちのためにどうか失ってはならない」という人も確実に増えています。

そこで、人間と自然が共生する里山が見直されているのですが、この考えは「自然」と違うという人もいます。しかし、自然のままに放置すると、単層化して暗い森になるので、人間も自然の一部として、生物多様性を求める「里山」を保存すべきだと考えます。



オカトラノオ

<菩提寺山里山の会の活動について>



菩提寺山は山陽小野田市にある、標高129m(イクチャンと読んでいる)の小山です。昭和59年に県の事業で整備されましたが、その後あまり管理されていないため、平成18年に「菩提寺山里山の会」を立ち上げ、生活環境保全林である菩提寺山の機能が最大限発揮されるよう、親しみと安らぎのある緑地の創造を行い、人と自然と共に生きていくという人間本来の生き方を学ぶ場を提供することを目的とし、活動を始めました。設立当初は年に3回くらいの下草狩りや水路の整備等をしていましたが、数年の試行錯誤の結果、「象徴種」を保存する方針となりました。生物多様性の豊かな里山とするための保全活動と併せて、豊かな自然を活かした自然環境教育の場としても活用しています。

現在、活動している場所にはオカトラノオやハンゲショウが群生しており、6月の中旬から咲き誇ります。それ以降はミソハギ、ママコナ、ヒヨドリバナが咲き乱れ、アサギマダラが飛んできます。是非、一度お立ち寄りください。お待ちしております。

イベントのご案内

やまぐちいきいきエコフェア

ストップ！地球温暖化

～みんなでしよることを広げよう～

<日時> 平成21年10月17日(土) 9:00～16:00
平成21年10月18日(日) 9:00～15:00

<場所> 山口きらら博記念公園(山口市阿知須きらら浜)

暮らしに密接に関連し着実な対応が求められる「地球温暖化防止」、「循環型社会の形成」及び「自然共生」について、理解と認識を深め、環境にやさしい行動や生活の実践の輪を拡げていくために、子どもから大人まで楽しみながら環境について学べる、参加・体験型イベント「やまぐちいきいきエコフェア」が開催されます。

(総称:きらら物産・交流フェア2009「きらら物産フェア」「山口住宅フェア」との合同開催)

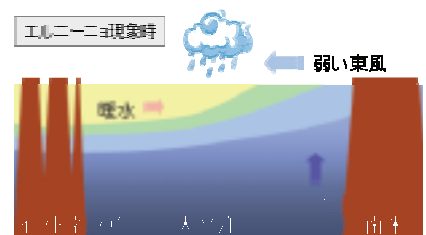
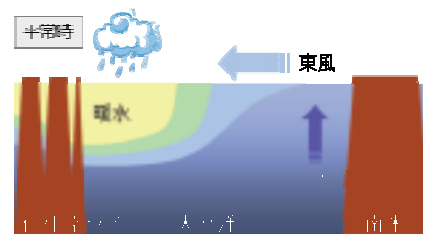
《お問い合わせ先》 やまぐちいきいきエコフェア実行委員会事務局(環境学習推進センター内 TEL:083-987-1110)



ミニ情報

今年の梅雨明けは、平年より遅く、中国地方では明けた日が特定できませんでした。長い梅雨の間には、記録的な豪雨となり、土砂崩れが起きるなど、県内をはじめ各地に大きな被害をもたらしました。このような異常気象を引き起こす原因のひとつに「エルニーニョ現象」があげられます。

平常時は赤道付近の強い日射しによって暖められたペルー沖の海水は、貿易風により東から西に押しやられ、それを補う形で深海から冷水が湧き上がってきています。こうして西太平洋の赤道付近には平均温度 28℃という暖かい海水が存在し、大気に水蒸気がたくさん供給されて、積乱雲を作り、熱帯低気圧(台風)が発生しやすい状態になっています。ところが、貿易風が弱まることがあり、そうすると、西太平洋に吹き寄せられていた暖水が東に移動するので、積乱雲や熱帯低気圧が発生する場所も東へ移動します。このようにして東太平洋熱帯域の海水温が高くなる状態が半年以上続くことをエルニーニョ現象といい、日本では冷夏、暖冬といった傾向がみられるとのことです。ということで、今年の台風の発生場所に注目しましょう。



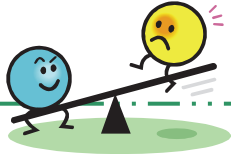
エルニーニョ現象に伴う太平洋熱帯域の大気と海洋の変動 (出典:気象庁HP)

『県民協働型自然共生手づくり事業』

協働事業決定!

次の団体との協働により、「自然保護」「自然環境の保全」「自然再生」活動に取り組み、県民皆様の自然体験学習の場となる簡易なフィールド整備等に併せた体験型の環境学習講座を開催します。

日時等は随時、環境学習推進センターのホームページ等でご紹介しますので、是非、ご参加ください。



実施団体と事業内容



平成 21 年 7 月 31 日現在

事業名	団体名	内容	実施時期
松尾峠周辺の自然環境(遊歩道)の再生と保全	岩国往来まちづくり協議会	江戸時代の古道岩国往来沿いの松尾峠、長谷溪谷等で多くの方々が自然を体感できる場所にするため、ベンチの設置や草刈等の清掃活動と自然にふれあう活動を実施する。	6月1日(月)~2月28日(日)
セツブンソウ自生地保存活動	錦川観光協会	準絶滅危惧種(環境庁のレッドリスト)のセツブンソウ自生地を保全するため、保護柵等を設置し併せて自然環境について学習をする。	7月1日(水)~2月28日(日) 学習会等 8月24日実施
宇部市ヒヌマイトンボ生息地保全活動	山口むしの会	ヒヌマイトンボの生息環境を整えるため、草刈、ゴミ拾い等の保全作業と観察会を実施する。	6月1日(月)~2月28日(日) 観察会等 6月27日実施
江舟岳のホンシャクナゲ群生地の整備	北浦自然観察会	江舟岳のホンシャクナゲ自生地の環境を保全するため、雑木の伐採や説明看板等を設置しホンシャクナゲと環境について学習をする。	7月20日(月)~2月28日(日) 作業・学習会等 9月27日(日) 実施予定
竜王山の植物等保全事業	本山会	竜王山に群生する植物を保全するため、草刈を実施し植物群落の案内標識を設置し秋には山野草の観察会を実施する。	7月12日(日)~2月28日(日)
大内塗ふるさとの森整備事業	大内塗ふるさとの森づくりの会	大内塗の原木「エゴノキ」の生育環境を保全するため、草刈、間伐等の実施と看板を設置し、エゴノキを利用した作品づくりを実施する。	9月26日(土)~11月30日(月) 作業等 9月26日(土)実施予定

現在、参加者募集中!

「大内塗ふるさとの森整備事業」

日 時: 9月26日(土) 時間未定
場 所: 山口市宮野上八丁地区
内 容: 森林整備(下草刈り、道草刈り)、看板設置
連 絡 先: Tel 083-927-1871 (谷口)



「江舟岳のホンシャクナゲ群生地の整備」

日 時: 9月27日(日) 9:00~15:00まで
集合場所: 萩市中央公園駐車場
内 容: 雑木の伐採・整理、歩道部分にロープを張る等
連 絡 先: Tel 090-8240-9785
Fax 0838-22-5475 (永井)

参加しました 手づくり事業!

宇部市ヒヌマイトンボ生息地保全活動の報告

6月27日(土)、小学生から大人まで26人が参加し、清掃活動およびヒヌマイトンボの観察会を実施しました。山口むしの会(主催団体)が定期的に清掃活動等をして環境整備をしているにもかかわらず、上流から流れてきたと思われる空き缶やお菓子のパッケージ等を多数回収しました。

今回、生息地の保全をするヒヌマイトンボは、山口県レッドリストで絶滅危惧ⅠA類に指定されている体長約25mmのイトンボで、海水の影響を受ける汽水域の泥深いヨシ原等に生息しています。講師からヒヌマイトンボは、水面から30cmまでの低い位置に止まっていることが多いと説明があり、参加者は低い姿勢で目を凝らしながら観察していききました。人の目に触れることの少ない小さな生き物を意識した観察会でした。

セツブンソウ自生地保存活動実施報告

8月24日(月)、高校生から大人まで40人が参加し、自生地周辺の草刈、枝打ち、電気柵、侵入防止柵の設置を実施しました。錦川観光協会(主催団体)のメンバーが2月下旬にセツブンソウが咲いていることに気づいたことから今回の事業となりました。セツブンソウは環境省レッドリストで準絶滅危惧種に指定されているキンポウゲ科の多年草で白いがく片が花びらのように見えるそうです。

参加者の意見交換会の場では、自生地として知られると残念なことに盗掘が起こることも危惧されるとの意見もでました。植物が自生するためには、適した自然環境が必要です。綺麗だから、珍しいから、育ててみたいからと持ち帰ることで、その植物を失うことはしたくないものです。

希少野生動植物種保護支援員になろう

☆ 保護支援員の役割とは・・・

自然の中に出かけ自然とふれあい、自然を知ることからはじめてください。そして動植物の観察会、研修会、ナベツルのねぐら整備などを対象とした保護活動や竹林の伐採などの保全活動などへ参加し、自分のまわりの人々に希少野生動植物の現状や保護の大切さを伝えることです。

☆登録の方法は・・・

希少野生動植物種保護支援員は、小学生以上で登録することができます。ただし、小学生の場合は保護者と一緒に登録、中高生は保護者の承諾が必要です。『希少野生動植物の保護』や『人と自然との共生』に関心や熱意のある方、自然環境に興味のある方はぜひ登録を!!

登録につきましては、山口県環境生活部自然保護課(TEL083-933-3060)までお問い合わせください。

環境学習推進センターからのお知らせ

○環境学習教材の貸出、ご相談に応じます!

地域や学校、会社等での環境学習などに活用していただくために、環境に関する図書やビデオ等の教材を無料で貸し出しています。個人でもOK。現在、図書357冊、ビデオ・DVD等272本、紙芝居7話、環境啓発パネル10種類。各地の環境イベント等で啓発パネルをご利用いただいています。早めのご予約を!



○いきいき環境塾スタンプラリー実施中! ~平成23年3月まで

山口県立きらら浜自然観察公園、秋吉台エコ・ミュージアム、つの上自然館及び環境学習推進センターで開催されるスタンプラリー対象講座を受けた方にスタンプカードを差し上げます。4つのスタンプが揃ったら、“いきいき環境塾修了生”の修了証と記念品を差し上げます! 詳しくは各施設にお問い合わせください。



共催講座のご案内(9月~)

参加者募集中! 詳しくはHPで!

月日	時間	講座名	共催団体	場所
10/11(日)	9:00~15:00	秋吉台の湧き水はきれいなの?	環境学習推進センター主催	美祢市
10/11(日)	9:00~11:30	秋の昆虫観察会	NPO法人産業創造支援ステーション	宇部市
10/25(日)	13:00~15:00	手軽にできる生ごみのリサイクル	NPO法人 たすけあいねっとわーく	周南市
11/14(土)	10:00~15:00	エコっこスクール2009(1日型)	環境学習推進センター主催	山口市

<編集後記> 長い梅雨も短い夏も終わり、だいぶ涼くなりました。うちの庭のメダカがいる鉢に、なんとオタマジャクシを1匹発見! さて、今からカエルになるのか、はたまたそのまま越冬するのか?! お楽しみ♪(あ)
今年も手づくり事業が動き出しました。各団体、みなさまの参加をお待ちしております。山口の自然を味わいませんか? 馬(ヒト)肥ゆる秋ですもの!(と)

発行元 (財)山口県ひとづくり財団 県民学習部 環境学習推進センター
〒754-0893 山口市秋穂二島1062(山口県セミナーパーク内)
TEL 083-987-1110 FAX 083-987-1720
URL <http://eco.pref.yamaguchi.lg.jp/learning/>